

令和8年度 家庭基礎 年間計画

学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費者、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。</li> <li>・学習した知識や技術を活かし、家庭や地域の生活課題を自ら考え主体的に解決する態度を育成する。</li> <li>・家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</li> </ul>					
評価の観点							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などに関する基礎的・基本的な知識や技能を身に付けている。		家庭や地域及び社会における生活のなかから問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する能力を身に付けている。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の充実向上を図ろうとする実践的な態度が見られる。			
単元	レポートの提出	学習項目	学習内容			スクーリング回数	
			教科書	コンテンツ	視聴報告	平日	日曜
家1族編・社会との共生	第1回	第1章 生涯を見通す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生を展望する</li> <li>・目標をもって生きる</li> </ul>	「家庭基礎」第1回 ・NHK高校講座「家庭総合」第1～8回 第36～38回 第39～40回	視聴報告課題1 (前期)の表紙の指示のとおり  <b>！！注意！！</b> 前期だけの提出では免除になりません。前期分の承認を受けたあと必ず後期分も提出し承認を受けること。	1	1
		第2章 人生をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生をつくる</li> <li>・家族・家庭を見つめる</li> </ul>			2	
		第10章 持続可能な生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会を目指して</li> </ul>			3	
		立生2活編の自	第9章 経済生活を営む			<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入・支払いのルールと方法</li> <li>・生涯の経済生活を見通す</li> </ul>	
3編 生活の創造		第11章 これからの生活を創造する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活をデザインする</li> </ul>				
ホームプロジェクト	第2回	ホームプロジェクト <b>スクーリングで実施計画を立てます。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</li> </ul>	「家庭基礎」第2回 ・NHK高校講座「家庭総合」第25～30回	視聴報告課題1 (前期)と視聴報告課題2 (後期)両方の合格で出席すべき回数の6割(2回分)の出席代替とみなします。  なお1日につき1回しか提出できません。まとめ出し不可。	4	3
2編 生活の自立		第7章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の役割を考える</li> <li>・被服を入手する</li> <li>・被服を管理する</li> </ul> <b>実習：基礎縫い</b>			5	
		第8章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住生活の変遷と住居の機能</li> <li>・安全で快適な住生活の計画</li> </ul>			6	4
第6章 食生活をつくる		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活の課題について考える</li> <li>・食事と栄養・食品</li> <li>・食品の選択と安全</li> <li>・調理の基礎</li> <li>・これからの食生活</li> <li>・調理実習</li> </ul> <b>各自、家庭等学校以外の場所で調理実習に取り組みます。実習ができない場合は代替課題の指示に従ってください。ただし、評価は調</b>	7			5	
1編 家族・社会との共生	第4回	第3章 子どもと共に育つ <b>スクーリングで子どもの動画を見ます。スクーリングに出られない人はレポートに指示された代替教材を利用してくださ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命を育む <b>DVD視聴</b></li> <li>・子どもの育つ力を知る</li> <li>・子どもと関わる</li> <li>・これからの保育環境</li> </ul>	「家庭基礎」第4回 ・NHK高校講座「家庭総合」第9～18回	視聴報告課題2 (後期)の表紙の指示のとおり  <b>！！注意！！</b> 後期だけの提出では免除になりません。前期分が承認されたあとに必ず後期分を提出し、承認を受けること。  視聴報告課題1 (前期)と視聴報告課題2 (後期)両方の合格で出席すべき回数の6割(2回分)の出席代替とみなします。  なお1日につき1回しか提出できません。まとめ出し不可。	8	6
		第4章 超高齢社会を共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超高齢・大衆長寿社会の到来</li> <li>・高齢期の心身の特徴</li> <li>・これからの超高齢社会</li> </ul>			9	
		第5章 共に生き、共に支える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障の考え方・共に生きる</li> </ul>			10	7
						11	8
						12	

レポート提出目  
 第1回・・・6月中旬  
 第2回・・・7月下旬  
 第3回・・・11月上旬  
 第4回・・・12月中旬

令和8年度 家庭総合 年間計画

レポート							
学習の到達目標		1. 人の一生と家族・家庭、衣食住、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活・環境などに関する知識と技能を総合的に身につける。 2. 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだし、解決策を構想することで生涯を見通して課題を解決する力を養う。 3. 様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするともに生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。					
評価の観点							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
自分と家族・家庭、地域社会の役割を理解し、それらの充実向上にむけて必要な基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。衣食住、消費・環境など、家庭生活を営む上で必要な知識と技能を身につけている。		自分と家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだし、解決のための思考を深め解決策を構想し、論理的に表現することができる。		人の一生と家族・家庭、衣食住、子どもや高齢者と福祉、それらと社会との関わりについて関心をもち、その充実・向上をめざして主体的に取り組む態度がみられる。			
単元	レポートの提出	学習項目	学習内容			スクーリング	
			教科書	コンテンツ	視聴報告	平日	日曜
1編 家族・社会との共生	1	第1章 生涯を見通す	・人生を展望する ・目標を持って生きる	「家庭総合」第1回・NHK高校講座「家庭総合」第1、2、3、4、5、40回講座		1	1
		第2章 人生をつくる	・人生をつくる ・家族・家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会			2 3	2
2編 生活の自立 <small>創造の生活<sup>3</sup>編</small>	2	第9章 経済生活を営む	・情報の収集・比較と意思決定 ・購入・支払いのルールと方法 ・生涯の経済生活を見通す ・家計をマネジメントする	「家庭総合」第2回・NHK高校講座「家庭総合」第18、19、20、21、22回講座	視聴報告課題1(前期)の表紙の指示のとおり  <b>！！注意！！</b>  視聴報告課題1(前期)の合格で2回分の出席代替とみなします。	4	3
		第10章 持続可能な生活を営む	・一人一人の力で社会を動かす			5	
		第11章 これからの生活を創造する	・生活をデザインする			6	4
2編 生活の自立	3	第7章 衣生活をつくる	・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する ・被服を作る <b>実習：基礎縫いの練習</b> ・衣生活の文化と知恵 ・これからの衣生活	「家庭総合」第3回・NHK高校講座「家庭総合」第30、31、32、33、34回講座	なお、1日につき1通しか提出できません。  視聴報告課題1と2のまとめ出しはできません。	7	5
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     平日講座ではスクーリングで基礎縫いの実習を行います。日曜講座の人は材料のみ学校で配布します。                 </div>	8				
ホームプロジェクト	4	ホームプロジェクト スクーリングで実践計画を立てます	・ホームプロジェクト	「家庭総合」第4回・NHK高校講座「家庭総合」第35、36、37、38回講座		10	7
2編 立生活の自		第8章 住生活をつくる	・住生活の変遷と住居の機能 ・安全で快適な住生活の計画 ・住生活の文化と知恵 ・これからの住生活			11 12	

レポート提出目標

第1回・・・5月下旬

第2回・・・6月中旬

第3回・・・7月上旬

第4回・・・7月下旬

単元	レポートの提出	学習項目	学習内容			スクーリング	
			教科書	コンテンツ	視聴報告	平日	日曜
2編 生活の自立	5	第6章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活の課題について考える</li> <li>・食事と栄養・食品</li> </ul>	「家庭総合」第5回 NHK高校講座「家庭総合」第23、24、25、28回講座	<b>！！注意！！</b> 後期分だけの提出はできません。後期に視聴報告をしたい人も前期分から取り組みましょう。前期分が承認されたあとに後期分の提出ができるようになります。  視聴報告課題1(前期)と視聴報告課題2(後期)の合格で出席すべき回数の6割(4回分)の出席代替が可能です。前期分だけで良い人は2通目(後期)2回分の提出をしなくても良い。スクーリングと視聴報告を計画的に利用し、合計8回以上出席しましょう。  なお、1日につき1通(1回)しか提出できません。視聴報告1と2のまとめ出し不可。再提出は翌日以降になります。〆切前、12月は返却が滞ります。早めに取り組みましょう。  8割(6回分)の減免を受ける必要がある人(止むを得ない事情がある人)は前期中にクラス担任に申し出ること	13	9
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の選択と安全</li> </ul>			14	
	6	スクーリングで調理実習は実施しません。家庭等での調理実習の取り組み方について説明します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯の健康を見通した食事計画</li> <li>・調理の基礎</li> <li>・食生活と文化と知恵</li> <li>・これからの食生活</li> </ul>	「家庭総合」第6回 NHK高校講座「家庭総合」第26、27、29回講座		15	10
			<b>&lt;実習&gt;調理実習(家庭で取り組みます)</b>			16	
1編 家族・社会との共生	7	第2章 子どもと共に育つ	<b>DVD視聴：子供の成長を動画を見て学ぶ。</b>	「家庭総合」第7回 NHK高校講座「家庭総合」第6、7、8、9、10、11回講座	17	11	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・命を育む</li> <li>・子どもの育つ力を知る</li> <li>・子どもと関わる</li> </ul>		18		
	8	第4章 超高齢社会を共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの保育環境</li> </ul>	「家庭総合」第8回 NHK高校講座「家庭総合」第12、13、14、15、16、39回講座	19	13	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・超高齢・大衆長寿社会の到来</li> <li>・高齢期の心身の特徴</li> <li>・これからの超高齢社会</li> </ul>		20		
		第5章 共に生き、共に支える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活と福祉</li> <li>・社会保障の考え方</li> <li>・共に生きる</li> <li>・誰もが暮らしやすい社会を目指して</li> </ul>		21	14	
					22		
23	15						
24	16						

レポート提出目標

第5回・・・10月中旬

第6回・・・11月上旬

第7回・・・12月上旬

第8回・・・12月中旬

令和8年度 保育基礎 年間計画

学習の到達目標		1. 乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。 2. 乳幼児の健全な成長に関心を持ち、乳幼児に関わる意欲や能力、実践的な態度を身につける。					
評価の観点							
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達や保育に関する幅広い知識を習得し、子どもの行動や生活に関する基本的な事項を理解する。</li> <li>子どもの発達や保育に関わる事柄について、実習や観察を通じて知識を深め、保育に必要な技能を修得する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>身に付けた知識をもとに、子どものよりよい保育について根拠に基づいて考え、推測し考察することができる。自身の考えや判断を、レポートや研究発表などを通して表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの身体的・精神的発達や保育に関して、関心を持ち、よりよい保育や子どもの発達のためにどうすればよいかを学ぼうとする姿勢が見られ、活動に工夫がみられる。</li> </ul>				
単元	レポートの提出	学習項目	学習内容			スクーリング回数	
			教科書	コンテンツ	視聴報告番組	平日	日曜
第1章 子どもの保育	第1回	・保育の意義	乳幼児期の大切さを学ぶ。 子どもの発達と環境とのかかわりについて学ぶ。	「保育基礎」第1回	視聴報告番組 視聴報告課題1(前期)の表紙の指示のとおり	1	1
		・保育の環境	保育所について学ぶ。 幼稚園について学ぶ。 認定保育園について学ぶ。	NHK Eテレ 「すくすく子育て」		2	
						3	2
第2章 子どもの発達	第2回	・胎児と新生児の発育	<b>スクーリングで動画を見ます。</b>	「保育基礎」第2回	なお、1日1回(1通)しか提出できません。まとめ出し不可。	4	3
		・子どもの発達の特性	乳幼児期の発達の特徴などについて学ぶ。 乳幼児期の感覚・運動機能の発達などについて学ぶ。				
		・乳幼児期の発達の特性	言語の発達について学ぶ。 自立の過程と対人関係について考える。 人との絆(愛着関係)について学ぶ。	NHK Eテレ 「すくすく子育て」		5	4
						6	
第3章 子どもの生活	第3回	・実習	<b>首のすわっていない赤ちゃんをだっこしてみよう。(保育教材による実習)</b>	「保育基礎」第3回	視聴報告課題2(後期)の表紙の指示のとおり  !!注意!! 後期分のみ提出はできません。前期分が承認されたあとに必ず後期分を提出し、承認を受けること。	7	5
		・子どもの食事	乳児の食事について、母乳と人工栄養の違いや離乳について学ぶ。				
		・生活習慣の獲得	基本的な生活習慣、社会的な生活習慣について学ぶ。				
		・実習	<b>乳幼児の間食について、試食を通して考える。</b>	NHK Eテレ		8	6
		・子どもの食事	乳児の食事について、母乳と人工栄養の違いや離乳について学ぶ。	「すくすく子育て」			
		・子どもの衣服と寝具	幼児に適した衣服について学ぶ。			9	
		・子どもの健康と安全	子どもの健康観察のポイントや看護の方法について学ぶ。				
第4章 子どもの福祉 第5章 子どもの文化	第4回	・保育に見る児童観	発達観・児童観が、時代とともに変化していることを学ぶ。	「保育基礎」第4回	視聴報告課題1(前期)と視聴報告課題2(後期)両方の合格で出席すべき回数の6割(4回分)の出席代替とみなします。  なお、1日1回(1通)しか提出できません。まとめ出し不可。  8割の減免を受ける必要がある止むを得ない事情がある人は、クラス担任に申し出ること	10	7
		・児童福祉の理念と法規・制度	児童福祉の歴史、法律、施設について学ぶ。				
		・子どもの文化	子どもの文化の意義を考え、遊びの種類や表現活動について学び、実践する。				
		・実習	<b>造形表現活動を体験し、子どもにとっての表現活動の意味を考える。</b>	NHK Eテレ		11	
		・実習	<b>子どもにとって身近な児童文化財である絵本に触れる。</b>	「すくすく子育て」			
		・実習	<b>子どもに適した音楽・身体表現活動について考え体験する。</b>				
		・子育て支援	これからの子どもの福祉について考える。			12	8

レポート提出目標

第1回・・・6月中旬  
第3回・・・11月上旬

第2回・・・7月下旬  
第4回・・・12月中旬

令和8年度 年間計画 (生活と福祉)

学習の到達目標		高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を習得させ、高齢者の生活の質を高めるとともに、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を育てる。					
評価の観点							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
高齢者の健康管理や自立支援に関する簡単な技術を身に付けている。		生活の質を高めるとともに、高齢者の健康管理や自立生活支援について課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身に付けている。		高齢者の健康と生活、介護などに関心をもち、高齢者と積極的に関わり、適切な生活援助や介護をしようとする意欲と態度を身に付けている。			
単元	レポートの提出	学習項目	学習内容			スクーリング	
			準教科書	コンテンツ	視聴報告	平日	日曜
13章 高齢者の健康と自立生活・生活支援	第1回	健康の概念	健康とは 高齢社会における健康とQOL 健康に影響を及ぼす要因	「生活と福祉」 第1回 ・ NHK Eテレ 「ハート ネットTV」	視聴報告課題 1 (前期) の 表紙の指示の とおり	1	1
		高齢者の尊厳	高齢者の身体的変化 エイジズム ボディメカニクス 車いすの名称 車いすの介助			2	
		聴覚障害の介護 2章【介護実習】	【体験】 手話・指文字 【実習】 手話番組を観る			3	2
2345章 高齢者の自立生活と生活支援	第2回	視覚障害	視覚障害のある方への介護の留意点 点字 【体験】 視覚障害疑似体験	「生活と福祉」 第2回 ・ NHK Eテレ 「ハート ネットTV」	！！注意！！ ※1日につき 1回しか提出 できません。 まとめ出し不可。	4	3
		高齢者介護	認知症高齢者への対応について  認知症の特徴  食事用自助具			5	
		5章【介護実習】	【体験】 食事介助			6	4
5章 介護の実習	第3回	介護の基本	身体の清潔の介護  【実習】 ケリーパッド作り  【実習】 バイタルサイン (脈拍)  災害時の高齢者介護	「生活と福祉」 第3回 ・ NHK Eテレ 「ハート ネットTV」	視聴報告課題 2 (後期) の 表紙の指示の とおり  ！！注意！！ 後期だけの提出 では免除に なりません。 前期分が承認 されたあとに 必ず後期分を 提出し、承認 を受けること。	7	5
			口腔の清潔			8	
			脱水の対応			9	6
5章 介護・看護の実習と生活支援	第4回	看護の実習	生活支援の考え方  自立生活支援の意義  【実習】 食事介助 (クロックポジション)	「生活と福祉」 第4回 ・ NHK Eテレ 「ハート ネットTV」	※1日につき 1回しか提出 できません。 まとめ出し不可。  8割の減免を 受ける必要が あるやむを得 ない事情があ る人はクラス 担任に申し出 ること。	10	7
			低温やけど、転倒、骨折			11	
		生活支援	生活支援について考える			12	8

レポート提出目標

第1回・・・ 6月中旬頃  
第3回・・・ 11月初頃

第2回・・・ 7月下旬頃  
第4回・・・ 12月中旬頃

令和8年度 フードデザイン 年間計画

レポート								
学習の到達目標		食事の意義と役割について理解し、豊かな食事を構成する要素として栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得し、食事を総合的にデザインする能力と実践的な態度を育てる。						
評価の観点								
知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技能を身につけている。		食生活を総合的にとらえて計画・実践するために思考を深め、食育の意義を踏まえて家庭や地域で活用するために、創意工夫し表現する能力を身につけている。		食事の意義と役割、栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどについて、主体的に学ぶ態度がみられる。				
単元	レポートの提出	学習項目	学習内容			スクーリング		
			教科書	ITコンテンツ	視聴報告	平日	日曜	
第1章	第1回	健康と食生活	・食事の意義と役割 ・食を取り巻く現状	「フードデザイン」第1回	マイページを参照	1	1	
第6章		食育と食育推進	・食育推進の取り組み ・食と環境について考えよう			2		
第5章		各国料理と献立	・日本料理の様式 ・日本料理のテーブルコーディネート			3		2
第4章		調理実習	・和風料理献立の実習					
第2章	第2回	栄養素・食品の特徴	・栄養素のはたらき ・健康に必要な栄養素 ・食品の特徴	「フードデザイン」第2回	マイページを参照	4	3	
第5章		各国料理と献立	・西洋料理のテーブルコーディネート			5		
第4章		調理実習	・洋風料理献立の実習			6		4
第2章	第3回	栄養素・食品の特徴	・食品加工の目的 ・食品の選択と取り扱い	「フードデザイン」第3回	マイページを参照	7	5	
第5章		各国料理と献立	・中国料理のテーブルコーディネート			8		
第4章		調理実習	・中国料理献立の実習			9		6
第2章	第4回	各国料理と献立	・ライフステージと栄養 ・献立作成 ・食と文化のかかわり ・テーブルコーディネート	「フードデザイン」第4回	マイページを参照	10	7	
第6章		調理実習	・環境にやさしい調理 ・行事食			11		8

【レポート提出目標】第1回…6月中旬 第2回 7月下旬 第3回…11月上旬 第4回…12月中旬